

□第10期 第4回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 令和6年（2024年）6月27日（木曜） 午前10時から11時45分

〔会場〕 豊中市役所第二庁舎3階大会議室

〔出席者（敬称略）〕

委員：李 ナリ、慎 成俊、張 雅斐、鄭 倩、PHAM THUY TRANG、黄 少熙
楊 瑜、LAMA SAROJ、李 霞

事務局：山口人権文化担当理事、津田市民協働部次長兼人権政策課長、高田課長補佐、橘田

〔傍聴者数〕 1名

〔会議内容〕

案件1. 前回会議の振り返り

→ 資料1『第10期第3回外国人市民会議のまとめ』を用いて、第10期のテーマ、今後話し合っていく内容、第3回目で出た意見の振り返り。

案件2. 子育て給付課の説明

→ 資料2-1『令和5年度 とよなか子育て・子育て応援BOOK「みんなで」』、資料2-2別紙『保育所と幼稚園』を用いて、子育て給付課職員による入所・入園の紹介。

<主な意見>

・委員：5月から2月に入園希望外れた場合、その間どうなるのか。一時的に預かってくれるところはあるのか。

⇒市：通常の定期利用以外にも、週3日が限度ではあるが、一時保育というものがある。一時保育を行っている施設を案内したり、認可外の保育施設の案内をしている。

委員：申し込みが電子申込になっているが、携帯電話やパソコンを持っていない場合でも対応できるのか。

⇒市：窓口でタブレットを貸出してその場で入力ができる。また、入力が難しくてわからないという場合も窓口で一緒に説明しながら打ち込みができる。

・委員：入園前、入学前に就学通知書が送られてきたと思うが、今もあるのか。

⇒市：小学校は別の係になるが、就学通知は今もしていると思う。

保育所については、内定が決まった場合年度途中であればまずは電話で連絡して、内定通知書を送っている。

ただし 4 月入所の内定については内定者が大勢いるため、電話での連絡はしていない。その場合、内定通知書を自宅に送っている。

・委員：外国人の方向けに多言語での対応はあるのか。

⇒市：今のところ多言語での対応はしていない。

・委員：やはり市役所関係の言葉がすごく難しくて、普段の生活とは離れている。市役所からなにか書類が届くと開けるのをためらってしまう。

近くに聞ける人がいればいいが、いない場合わからなくて困るため、なにか改善してほしい。

・委員：ほかの市で待機児童はいないと聞いているが、豊中市では待機児童が多いのか。

周りでもなかなか保育園に入園できない人がいる。一時保育を利用すると一日 2200 円もする。

保育園を増やす方向はあるか。

⇒市：豊中市ではこどもの年齢や地域にもよるが、特に年度途中は保育施設の空きが少ないため、待機されている方は多い。また、1 歳児 2 歳児の申し込みも多く、待機児童は 1 歳児 2 歳児が多くなっている。

市の方でもできるだけ利用してもらえるように各施設の受け入れ枠拡充や民間保育所等の新規設に取り組んでいる。

・委員：私の子供が日本の保育園に入園するとき、内定と書かれた書類が届いた。中国ではもっとわかりやすい言葉だが、日本は言葉が難しい。OK や合格などもっとわかりやすい言葉の方がいいと思う。

・委員：それは日本人も同じように感じていると思う。幼稚園のハードルが高く感じる。

- ・委員：幼稚園は預けられる時間が午前 9 時から午後 2 時まで。

午後 2 時まではお母さん働きたくても働けない。その結果延長保育になりお金もかかる。追加料金のカウントも厳しいので、もう少し緩くしてほしい。お母さんが働きやすい環境を作
ってほしい。

- ・委員：日本語がとても難しいと思う。また、子どもを預けられるようにもう少し園を増やして欲しい。時間も短いと思う。

- ・委員：まだ子育ての経験はないが、今回こういう制度を聞いてここで結婚して子育てをするというのが難しいと思う。だから、外国人市民にも伝わるような言葉と制度をもう少し見直す必要があると思う。制度的なところで言うと、日本人も同じ状況だと思うが、こういう状況だから日本では少子高齢化が進んでいる。日本で住み続けたいと思うが、将来子育てをするときに課題があると思う。

- ・委員：内定という言葉は私は全然気にしなかったが、確かに就職するときのイメージが強いかもしれない。

保育園の先生がいなかったら、外国人のお母さんたちも保育園で仕事ができたらいいと思う。保育園で仕事したいお母さんも結構多いと思う。最初は困ることも多いと思うが、人数を増やして園も増やすといいと思う。

- ・委員：一時保育について聞きたい。保育の空き状況はネットで調べられる状況か。一時保育はどうなっているのか。

⇒市：一時保育については、子育て給付課では空き状況の把握はしていない。直接施設へ申し込みをして、空き状況の確認をしてもらっている。

- ・委員：私の子どもが幼稚園入る前に、一時保育を結構探した。

市役所では資料だけもらって、そのあとは一つ一つ自分で電話で確認をしなければならない。その時は空気がなく、かなり苦労した。

保育の空き情報が簡単にネットで見る事が出来たら、お母さんたちはリフレッシュできる。

一時保育がもっと活発に活用出来たら、子育てに余裕ができると思う。

- ・委員：子どもが病気の時の病児保育はどこで申込できるのか。外国人の親は病児保育についてほとんど知らない。

⇒市：保育所でも、子どもが病気で仕事を休まないといけないという困りごとの意見があると思う。

病児保育について、内定通知書送付時に、こういうところがありますよというチラシを同封している。

令和 5 年度とよなか子育て・子育て応援 BOOK「みんなで」の 27 ページにも載っている。豊中市では 3 施設あり、各施設への申し込みになっている。

- ・委員：電話したら大体すぐ利用できる状況か。

⇒市：過去に利用した時は、あまり断られるということにはなかった。ただその時の空き状況によるため、申し込みをしてみないとわからない。

基本は事前登録が必要だが、突然当日に病気になった時に当日の登録も可能ではあるため、もし何かあれば各施設に連絡してもらった方がいいと思う。

- ・委員：当日 8 時から受付ができるようだが、8 時より前に電話はつながるのか。

⇒市：受付時間に関して当日どうなるかはわからないが、基本は前日までの予約である。各施設に確認していただければと思う。

- ・委員：急に子どもが病気になり子どもを翌日預けないといけないとなった時、前日の夜のうちに預けられるところを確保しておきたい。当日の 8 時に受け付けが出来たとしても、仕事に行くことが出来ない。今、私学では 24 時間電話がつながる相談窓口がある。保育所等に関しても夜間も電話が通じるような窓口を作ってほしい。

日本人は実家に頼ることもできると思うが、外国人はそうではないため、電話での対応時間の枠を広げてほしい。

また、病児保育の料金は一日いくらくらいか。

⇒市：令和 5 年度子育て・子育て応援 BOOK「みんなで」の 27 ページのところにも載っているが、
日額で 2000 円で給食費は 500 円である。

ただ、課税状況や家庭状況によって減免の制度がある。

・委員：岡山県に住んでいた時は、両親二人共が正社員でないといけなかった。豊中でも両方正社員
の方が入りやすいのか。

⇒市：豊中市ではアルバイトとか正社員とかは関係なく、働いている時間に応じて点数をつけている。

・委員：アルバイトでも働いている時間が長いなら同じ条件か。

⇒市：はい。

・委員：私は日本に来て 16 年経っているが、文字ばかりで漢字が多いと内容がわからず不安に感じる。
一人で手続きをしないといけない時があるが、イメージができないからなおさら不安に感じ
てしまうと思う。

初めて日本に来たときに、大学で日本の文化や例をドラマ形式で動画を見せてもらった。そ
れがわかりやすく一番役に立ったと思っている。同じように手続関係もわかりやすい動画を
作ってもらえると、言語が違ってもイメージが出来て自信が持てるようになると思う。

・委員：病気やけがの時や困った時に電話をしたら関係するところに案内してくれるようなものがあ
れば良いと思う。色々な情報が載っているものを渡されても、緊急時にわからなくなってし
まう。

案件 3. 第 10 期外国人市民会議報告書の作成に向けて

→ 資料 3 『第 10 期外国人市民会議報告書の作成に向けて』を用いてグループワーク方式での
意見交換。

トークテーマ：①子育て中の外国人親子が交流するには何をしたらいいか。

②地域で多文化交流をするために何をすればよいか。

③どのように「情報」を伝えていくか。

① グループ

- ・中国のお茶の葉っぱを持って行って香りや形を感じてもらおうということを子ども向けにしている。そこで一緒にお茶を飲みながら話したらいい交流ができると思う。食べながら飲みながら話すということが一番交流しやすいと思う。国際料理会やお茶会をしてはどうか。
- ・毎月一冊読む本を決めて、翌月その本の感想を言い合い交流する。
子育てに関する本や、自分の知識・成長につながる本など。
- ・おやこでにほんごでの交流が去年は外国人の参加者は数人いたが、今年はほぼ 0 になっている。交流しに行っているのに毎回折り紙が多く、それで時間が終わってしまい、日本人外国人の交流が出来ていない。もっと生活に関しての情報交換がしたい。
- ・子どもが小学 6 年生になったら親も子も教室を卒業しなければいけない。卒業した後、子どもが中学生・高校生になるまでの母親の居場所がほしい。
- ・活動の様子を伝えるには動画や写真を載せる必要がある。ただ載せるだけでなく、みんなが参加したくなるようなわかりやすく面白いものでないとなかなか伝わらないと思う。
- ・活動に参加するときの連絡ももっとわかりやすく、大事なことだけ伝えたらいいと思う。
もっとわかりやすく短く内容だけ伝えたらいいと思う。

② グループ

- ・学校の情報など親同士で情報交換できる場があれば良いと思う。
受験のことや、公立・私立などの情報を日本人の親に教えてもらう機会が欲しい。
- ・日本人と外国人が交流するために、スピーチコンテストをしてはどうか。
日本人から外国人へ、外国人から日本人へそれぞれの文化などスピーチをする。
- ・日本語のオンライン講座を平日の参加が難しい人のために、夜にオンライン講座をする。
- ・外国人にとってわかりやすく、広く情報を伝えるために、チラシ等にすべてふりがなを打ってほしい。漢字が読めない外国人も多い。
- ・Facebook を使っている外国人が多いため、Facebook で情報を流した後に、それぞれの言語に翻訳したものをコメント欄に残してもらってはどうか。
- ・病院や一時保育など緊急連絡先のリストを作成してはどうか。多すぎず、わかりやすいものがあればいいと思う。

③ グループ

- ・イベントのチラシを多言語で作成し、スーパーや学校、公民館などの入り口に貼ると良いと

思う。

- ・外国人ための親子の活動など近くの公民館でやるといいと思う。場所が遠いとなかなか参加できない。公民館もすごくいい施設なのに利用する人が少なくもったいない。

④ グループ

- ・情報交換としておしゃべり会をする。学年に分けて会を開くといいと思う。一番欲しい情報が得られやすい。学校の説明会は本当に難しいので、経験者のお母さんの話を聞きたい。
- ・チラシを一番配りやすいのはとよなか国際交流センターでの日本語教室だと思う。
外国人が一番集まっていて、いつも情報を得ている。
- ・とよなか国際交流センターの世界を食べようが子どもだけのイベントで親は参加できない。
いろんな国の文化とか食べ物とか、遊びを教えてくれるが、親も参加したいと思う。
- ・とよなか国際交流センターでハギハッキョという小学生が参加するイベントがあるが、毎回同じ内容のためもう少し工夫してほしい。
- ・豊中市に転入するときに、メールアドレスを登録してもらいイベントなどの情報を配信するとより伝わりやすいと思う。また、転入してきたときにとよなか国際交流センターの存在を伝えるようにしてほしい。

案件4. その他

- 次回の会議の日程調整について説明。